

『悠悠映画塾』について

【1】「悠悠映画塾」開催について。

“映画は豊かな人生学校”と言われる。映画をとおして様々な人生や行った事のない地域を知ることができます。この上映会は、映画の鑑賞をとおして皆さまの人生が「今一つ豊かになった」と喜んでいただける事を願って開催します。

【2】お客様の特典サービスについて。

- ① ポイントによる無料ご招待。
お配りしています『受講証』に参加いただく度に、押印させていただきます。
5回ご参加いただきますと、6回目は、無料招待とさせていただきます。
- ② 入場料金の優待。
ご案内ハガキご持参の方は、特別料金にご優待いたします。料金は作品により変動いたします。
- ③ 記念品のプレゼント
ポイントカードを3枚目に更新される時にファイルをプレゼントいたします。

【3】上映会場について。

主として、県民文化センター小ホールや、ひたちなか市文化会館小ホールを会場としますが、予約状況などにより、別会場になる場合もあります。

【4】会場へのご入場について。

上映会場は一般のチケット購入の方もご入場されます。席は全て自由席です。
先着順にご入場いただきますが、定員数を越えてご入場いただく事は消防法により禁じられておりますので、満席になりました場合は、別の時間にご入場いただくこととなります。予め、ご了解ください。

【5】上映会期日のご案内について。

上映会のお知らせにつきましては下記の方法をとらせていただきます。

- ① 「よみうりタウンニュース」紙上等での上映案内。
- ② すでに映画センターにお名前、ご住所が登録されている方（今回の上映のお知らせが直接届いた方）には、チラシ郵送による案内。
- ③ 本日のアンケートの住所・氏名欄にご記入いただいた方で、今回初めてご記入いただいた方は、新たに登録させていただき、次回分より優待付案内状をお送りさせていただきます。
- ④ 茨城映画センターのホームページ上の上映スケジュール

【6】お知らせいただいた情報の使用について。

お知らせいただきました、皆様の住所、氏名等の情報につきましては、上映情報の提供等、「悠悠映画塾」の運営を充実させる目的以外には使用いたしません。

【ご意見・ご要望は】

『悠悠映画塾』事務局（茨城映画センター）〒310-0064水戸市栄町1-10-13
TEL 029-226-3156(平日10:00~17:00) E-MAIL eiga-c@ibaraki-eiga.co.jp
ホームページアドレス [www.ibaraki-eiga.co.jp]

第124回悠悠映画塾

第37回 東京国際映画祭
Nippon Cinema Now 部門
正式出品

- ◆一般社団法人日本臨床心理士会推薦
- ◆公益財団法人全国精神保健福祉会連合会推薦
- ◆公益財団法人日本公認心理士協会推薦
- ◆公益財団法人日本精神保健福祉士協会推薦
- ◆公益財団法人日本社会福祉会後援

阪神・淡路大震災から30年

みんなもろい
街も、家族も、
わたしの心も

THE HARBOR LIGHTS

港に 灯が ともる

震災を知らない
わたしの物語

富田望生

伊藤万理華 青木柚 山之内すず 中川わさ美 MC NAM 田村健太郎
土村芳 渡辺真起子 山中崇 麻生祐未 甲本雅裕

監督・脚本 安達もじり 脚本 川島天見 音楽 世武裕子

エグゼクティブプロデューサー：大角正 プロデューサー：城谷厚司 堀之内礼二郎 安成洋 取材：京田光広 写真：平野愛
特別協力：全国映画センター 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会
製作：ミナトスタジオ 配給：大東 ©Minato Studio 2025 2025年/119分/DCP/日本

minatomo117.jp



2026年5月30日(土) ひたちなか市文化会館小ホール (ひたちなか市青葉町1-1)

【開場各30分前・上映時間119分・字幕付・ゲストトーク予定(約20分)】

開演時間 / ①午前10:30~ ②午後2:00~

●主催・問合せ ●茨城映画センター(「悠悠映画塾」事務局 TEL:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧ください。

●後援 ●茨城県精神保健福祉士会

港に 灯が ともる

ストーリー

1995年の震災で多くの家屋が焼失し、一面焼け野原となった神戸・長田。かつてそこに暮らしていた在日コリアン家族の下に生まれた灯(富田望生)。在日の自覚は薄く、被災の記憶もない灯は、父(甲本雅裕)や母(麻生祐未)からこぼれる家族の歴史や震災当時の話が遠いものを感じられ、どこか孤独と苛立ちを募らせている。一方、父は家族との衝突が絶えず、家にはいつも冷たい空気が流れていた。ある日、親戚の集まりで起きた口論によって、気持ちが昂り「全部しんどい」と吐き出す灯。そして、姉・美悠(伊藤万理華)が持ち出した日本への帰化をめぐり、家族はさらに傾いていく——。なぜこの家族のもとに生まれてきたのか。家族とわたし、国籍とわたし。わたしはいったいどうしたいのだろう——。



圧倒的な取材量を基に、 アフター震災世代をリアルに描く オリジナルストーリー

本作は2021年に公開した「心の傷を癒すということ 劇場版」を契機に、表情豊かな港町・神戸から世界へ響く映像作品を届けようと立ち上げられた「ミナトスタジオ」の船出作品。主人公・灯の苦しみや葛藤、成長を見事に演じ切ったのは今作が初の映画主演作となる富田望生。監督は、20年以上にわたり、NHKの演出家として「カムカムエヴリバディ」など数々のドラマを手掛けてきた安達もじり。神戸で暮らす人びとへの膨大かつ綿密な取材を基に、震災後をリアルに描くオリジナルストーリーを作り上げた。

富田望生

伊藤万理華 青木柚 山之内すず 中川わさ美 MC NAM 田村健太郎
土村芳 渡辺真起子 山中崇 麻生祐未 甲本雅裕

監督・脚本 安達もじり 脚本 川島天見 音楽 世武裕子

エグゼクティブプロデューサー：大角正 プロデューサー：城谷厚司 堀之内礼二郎 安成洋 取材：京田光広 写真：平野愛
特別協力：全国映画センター 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（日本映画製作支援事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会



劇場情報は公式ウェブサイトをご覧ください。
minatomo117.jp

公式Instagram・Xアカウント：@minatomo117

前売券 1,200円 発売予定日/4月28日～(販売所により発売日が異なります。)
(当日券/一般:1,500円、高校生以下:800円、**悠悠映画塾会員は1,100円**)

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え
いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、
適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

PassMarket
Yutoo!



※デジタルチケットは、
上記の二次元コードより
購入できます。

第125回悠悠映画塾

家族って、
わずらわしくて、厄介で、
それでもやっぱり、いとoshii。



江口のりこ 内田慈 古川琴音 青山フォール勝ち
(ネルソンス)

お母さんが一緒

母親を連れて温泉にやってきた三姉妹。楽しいはずの旅はいつしか壮絶な姉妹喧嘩へ——。
稀代の映画監督・橋口亮輔が、ペヤンヌマキによる同名の舞台を脚色。
9年ぶりの監督最新作は、笑えて泣ける傑作ホームドラマ。

原作・脚本：ペヤンヌマキ

監督・脚色：橋口亮輔 (『ぐるりのこと。』『恋人たち』)

制作プロダクション：ビデオプランニング 製作：井田寛 プロデューサー：深田誠剛 三木和史 企画：小野仁史 撮影：上野彰吾 (JSC) 照明：赤津淳一 美術：仲前智治 録音：中村雅光 監音：小川武 編集：宮島竜治 (JSE) 音楽：平井真美子
配給：クロックワークス 製作：松竹ブロードキャスティング ©2024松竹ブロードキャスティング

2026年6月25日(木) ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール

(茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697)

開演時間 / ①午前10:30～ ②午後2:00～ 【開場各30分前・上映時間106分・字幕付】

●主催・問合せ ●茨城映画センター (「悠悠映画塾」事務局) TEL:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧ください。

観る者すべての心を揺さぶった『恋人たち』から9年。
 誰もが待ち望んだ橋口亮輔監督最新作は、
 心をそっと包みこむ”家族“の物語。



誰も、心のまんなかには家族がある。
 ときに痛かったり、むず痒かったり、理不尽だったり。
 それでも手放せない、いとおいしい“ぬくもり”。

— 橋口亮輔

思いきり笑い泣いたあとには、
 しみじみと家族を思う、
 ホームドラマの傑作が誕生！

親孝行のつもりで母親を温泉旅行に連れてきた三姉妹。長女は美人姉妹といわれる妹たちにコンプレックスを持ち、次女は優等生の長女と比べられてきたことを恨んでおり、三女は姉二人を冷めた目で観察していて、全員が「母親みたいな人生を送りたくない」という共通の思いを抱えている。温泉宿の一室で爆発する三姉妹の母親への愚痴は徐々にエスカレートし、お互いを罵倒する修羅場へと発展していく。そこに清美がサプライズで紹介しようと考えていた彼氏・タカヒロが現れ、物語は思わぬ方向へ——。「いちばん近い他人」である家族だからこそ感じる不満やいら立ち。悲喜こもごもを毒気とともにあたたかく軽やかに綴った、家族ドラマの傑作が誕生した。

言おうとしたけど、
 お姉ちゃんたち
 全然話聞かんげん

母ちゃん大事に
 できん奴は
 彼女ができて
 大事にできん



稀代の映画監督・橋口亮輔が、ペヤンヌマキの同名舞台を脚色、映像化。
 江口のりこ、内田慈、古川琴音、青山フォール勝ち(ネルソンズ)ら
 個性豊かなキャストが集結！

監督は、キネマ旬報ベスト・テン日本映画第1位はじめ数多くの映画賞に輝いた名作『恋人たち』(15)以来の新作となる橋口亮輔。劇作家・映画監督などマルチな才能を発揮するペヤンヌマキによる同名の舞台を、橋口監督が脚色したオリジナルドラマシリーズが、このたび新たに再編集され映画となった。長女・弥生役は、映画やドラマなど多方面で活躍し、主演作の公開も相次ぐ実力派・江口のりこ。次女・愛美に、舞台・映画・ドラマで独自の存在感を発揮する内田慈。いま最も注目される若手俳優の一人として話題作への出演が続く古川琴音が三女・清美に扮し、その彼氏・タカヒロにお笑いトリオ「ネルソンズ」のメンバーとしてバラエティ番組で活躍する青山フォール勝ちが抜擢され、人気・実力を兼ね揃えた個性豊かなキャストが勢揃いした。

何で3人もあって、
 みんなうまく
 いかんとやらね。
 やっぱお母さんの
 せいやる

お姉ちゃんって、
 ほんとお母さん
 そっくりだよ



原作・脚本:ペヤンヌマキ 監督・脚色:橋口亮輔 出演:江口のりこ 内田慈 古川琴音 青山フォール勝ち(ネルソンズ) 配給:クロックワークス 制作:松竹プロードキャストिंग ©2024松竹プロードキャストिंग 2024年/日本/カラー/DCP/5.1ch/ビスタ/106分
 HP: www.okaasan-movie.com X: @okaasan_movie f: movie.okaasan



前売券 1,200円 発売予定日/5月22日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)
 (当日券/一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円)
前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット
 【前売券予約電話番号】茨城映画センター内:090-2641-3156
 (土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え
 いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、
 適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

PassMarket
 YAMOO!

 ※デジタルチケットは、
 上記の二次元コードより
 購入できます。